

1. 教育職員免許状を申請される方へ

教育職員免許状申請書類（封筒表書）の申請書類一覧にある書類を提出してください。申請内容によりましては、別途、他の書類のご提出をお願いすることもありますので、ご了承ください。

また、三重県内の公立小中学校及び県立学校教諭は、宣誓書（第7号様式）を省略することができます。

2. 学力に関する証明書について

教育職員免許状申請用の学力に関する証明書を提出してください。学業成績証明書等では受理できませんので、注意してください。

3. 証明書類の証明年月日について

すべての証明書類の証明年月日は、6か月以内の証明に限ります。

ただし、都道府県教育委員会の発行する学力に関する証明書（単位修得証明書）については、6か月以前に発行されたもので構いません。

4. 戸籍抄本の提出が必要になる場合について

今回の申請に添付された証明書類等に記載された名前又は本籍地（都道府県名）が現在と異なる場合は、戸籍抄本を提出してください。

5. 複数の免許状を同時に申請される方へ

次の同内容の書類については、申請免許状の件数分を提出してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・教育職員検定申請書（第2号様式）・学力に関する証明書（単位修得証明書）（大学等発行の免許申請用のもの・厳封）・収入証紙納付書検定手数料（第11号様式）、収入証紙納付書授与手数料（第11号様式） |
|---|

これら以外の書類は、同じ内容であれば、1部のみ提出で構いません。

（例）履歴書、宣誓書、人物・実務・身体に関する証明書、卒業（修了）証明書、卒業（修了）証書の写、戸籍抄本

申請様式について

教育職員免許状申請様式（別表第8用）をEXCEL・WORDファイルまたはPDFファイルで掲載しておりますので、ダウンロードして印刷し、ご使用ください。

第6号様式（履歴書）、第13号様式（免許状（免許証・免状）の写）については表面・裏面の用紙がありますので、必ず両面コピーをしてご使用ください。

各申請書類の記入方法の詳細を、次頁以降に示してあります。必ず参照して記入ください。

教育職員検定申請書

令和××年 ××月 ××日

三重県教育委員会 宛て

現住所	市 町 ×× - ×	「現住所」は申請者自宅住所を記入。他の書類も同様。 「勤務先又は勤務予定校」は無職の場合は空欄
勤務先又は勤務予定校	市立 小学校	
フリガナ	○○ ○○	本籍地
名前 (楷書で正確に 記載すること)	○○ ○○	都 道 三重 府 県
生年月日	(和暦) S H ×× 年 ×× 月 ×× 日生	

次の教育職員免許状を教育職員検定のうえ授与等してください。

い ず れ か 一 方 の み	免 許 状 の 種 類	学校種・養護・栄養 の別を記入。	専修・1種・2種 の別を記入。	幼・小・養護・栄養免 の場合は不要 特支免の場合は、視覚 障害者・聴覚障害者・ 知的障害者・肢体不自 由者・病弱者の該当領 域を全て記入。
		中学校 教諭	1種 免許状	
			助教諭免許状	

(表面)

両面印刷の様式

履 歴 書

現住所	市 町 ×× - ×				
	TEL (×××) ××× - ××××				
フリガナ	○○ ○○	本籍地	都 道		
名 前	○○ ○○	三重	府 県		
	旧姓() (和暦) S (H) ××年××月××日生				
1 所有免許状					
授与年月日	免許状の種類	教科又は教育領域	番号	根拠規定	授与権者
H〇・〇・〇	中学校教諭1種免許状	外国語(英語)	平〇中1種 第〇〇号	別表第〇	〇〇県教育委員会
・					
・	所有している全ての教育職員免許状について記入 すること。(臨時免許状も含む)				
・	所有していない場合は空欄。				
・					
2 学 歴					
在 学 年 間	学校名及び部科名	卒 中 修 退	国 私 公 立	何年制	在 学 年 数
H〇・〇・〇~H〇・〇・〇	〇〇県立〇〇高等学校 普通科	卒	公	3	3
H〇・〇・〇~H〇・〇・〇	自宅学習				
H〇・〇・〇~H〇・〇・〇	〇〇大学〇〇学部〇〇学科	卒	私	4	4
H〇・〇・〇~H〇・〇・〇	大学通信教育学部(科目等履修生)	修	私		2
・	学歴は高等学校から記入すること。通信制大学も 記入すること。				
・					
・					
3 賞罰、身上異動					
年 月 日	事 項				
H〇・〇・〇	婚姻により「 」 「〇〇」に改姓				
・	改姓、本籍地異動等があれば記入すること。				
・	該当しない場合には、「特になし」と記入すること。				

宣 誓 書

私は、教育職員免許法第5条第1項に規定する次の者に該当しないことを宣誓いたします。

- 1 禁錮以上の刑に処せられた者
- 2 教育職員免許法第10条第1項第2号又は第3号に該当することにより免許状がその効力を失い、当該失効の日から3年を経過しない者
- 3 教育職員免許法第11条第1項から第3項までの規定により免許状取上げの処分を受け、当該処分の日から3年を経過しない者
- 4 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

令和××年 ××月 ××日

名 前 ○○ ○○

上記の宣誓内容1から4に該当しないことを確認のうえ、宣誓年月日、名前、生年月日を自署してください。なお、現職の三重県内公立小中学校教諭、県立学校教諭、養護教諭及び栄養教諭の場合は、宣誓書の提出を省略することができます。

(和暦) S ○ H ××年 ××月 ××日生

日付、名前、生年月日は申請者が自署すること

親展

人物に関する証明書

現住所 市 町 xx - x

勤務先又は
勤務予定校 市立 小学校

名 前 ○○ ○○

(和暦) S **H** xx年xx月xx日生

項 目		所 見
1 性 格		<p>校長が記入のうえ、証明してください。現在学校に勤務していない場合は、現在の勤務先の所属長、出身学校長、教育委員会等の証明が必要です。</p> <p>学校籍のある指導主事等については、実際の勤務地の所属長が記入のうえ、証明してください。</p> <p>任用する講師が臨時免許状を申請する場合は、当該校の校長が記入・証明し、それに応じた実務証明責任者の証明が必要です。</p> <p>実務証明責任者は以下のとおりです。 三重県立学校 - 省略のため、空欄 / 他都道府県立学校 - 該当都道府県教育委員会 / 市町立学校 - 市町教育委員会 / 国立学校 - 大学長 / 私立学校 - 理事長 / 現職教員以外 - 省略のため、空欄</p>
2 教員としての 適格性	指 導 力	
	研 究 心	
3 社 会 性		
4 そ の 他		

上記のとおり、相違ないことを証明します。

令和xx年 xx月 xx日

校長名 又は
所属長 職 名 前 ○○学校長 ○○ ○○

職印

令和xx年 xx月 xx日

○○市教育委員会 教育長
実務証明責任者 ○○

職印

(表面)

親展

- ・勤務校毎に1枚を記入してください。1つの学校で6年以上の勤務年数がある場合、2枚使用して記入し、この場合2枚とも校長・実務証明責任者の証明が必要です。
- ・裏面「1 基礎的事項」において、勤務しなかった期間は該当あり、なしいずれかに○をつけてください。
- ・裏面「2 具体的事項」の欄は、現任校のみ記入してください。(該当する項目に証明者が○をつけてください。)

実務に関する証明書

現住所 市町xx-x

勤務先又は
勤務予定校 市立 小学校(第1号様式もしくは第2号様式と同じ内容)

名前 ○○ ○○

(和暦) S・H xx年 xx月 xx日生

上記の者は、裏面調査書のとおりである。

令和xx年 xx月 xx日

裏面に書かれた在職年数を過ぎた学校の校長(校長が替わっている場合、その学校の現在の校長)が証明

校長名 又は
所属長 職 名前 ○○学校長 ○○ ○○

職印

令和xx年 xx月 xx日

実務証明責任者 ○○市教育委員会 教育長
○○ ○○

裏面に書かれた在職年数を過ぎた学校が
三重県立なら省略
他都道府県立なら該当都道府県教委
国立なら大学長
市町立なら該当市町教委
私立なら理事長

職印

調 査 書

1 基礎的事項																																							
年 度 (期 間)	令和×年度 R×年×月×日から R×年×月×日まで	令和×年度 R×年×月×日から 現在に至る まで	年度ごとに記入してください。 申請年度のみ「現在に至る」と記入		年度 月 日から 月 日まで																																		
職 名	臨時的任用講師	教諭	職名 : 正式な職名を必ず記入 担任学年 : 学級担任ではなく、授業を担当した学年 特別支援学校の場合、幼小中高の別も記入 担任教科 : 中学校・高等学校は必ず記入。 小学校も専科の場合は記入。 教育領域 : 特別支援学校の場合は記入。 週時数 : 必ず記入。 担任しなかった教科 : 中学校・高等学校は不要。 小学校があれば記入。 養護教諭・栄養教諭は職名のみ記入																																				
担 任 学 年	1～3年	3年																																					
担 任 教 科	国語	国語																																					
教 育 領 域																																							
週 時 数	12時間	17時間																																					
担任しなかった教科																																							
成 績 (良好、不良の 区分により記 入すること。)	[○] 良 好 [] 不 良	[○] 良 好 [] 不 良	[] 良 好 [] 不 良	[] 良 好 [] 不 良	[] 良 好 [] 不 良																																		
<p>上記期間のうち長期にわたって勤務しなかった期間(育児休業、退職、病気休暇及び産前・産後休暇等の区分により記入すること。なお、該当がない場合は、斜線を引くか「該当なし」と記入すること。)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事 由</th> <th colspan="2">期 間</th> <th rowspan="2">事 由</th> <th colspan="2">期 間</th> </tr> <tr> <th>年 月 日から</th> <th>年 月 日まで</th> <th>年 月 日から</th> <th>年 月 日まで</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6">[○] 該当あり ・ [] 該当なし いずれかに○を付けること 事由及び期間を記入</td> </tr> <tr> <td>病気休暇</td> <td>R○年○月○日から</td> <td>R○年○月○日まで</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						事 由	期 間		事 由	期 間		年 月 日から	年 月 日まで	年 月 日から	年 月 日まで	[○] 該当あり ・ [] 該当なし いずれかに○を付けること 事由及び期間を記入						病気休暇	R○年○月○日から	R○年○月○日まで															
事 由	期 間		事 由	期 間																																			
	年 月 日から	年 月 日まで		年 月 日から	年 月 日まで																																		
[○] 該当あり ・ [] 該当なし いずれかに○を付けること 事由及び期間を記入																																							
病気休暇	R○年○月○日から	R○年○月○日まで																																					
2 具体的事項(現在の勤務校についてのみ記入すること。)																																							
項 目	所 見 (各項目中該当欄に○を付けること)																																						
研究態度	積極的に研究熱心である。		普通である。	無計画で研究的態度に乏しい。																																			
指導能力	指導は効果的能率的であって信頼度が高い。		普通である。	児童生徒の学習態度に無頓着であり、その指導は余り徹底しない。																																			
授業態度	進んで授業の準備をし、指導にあたっては最善をつくす。		普通である。	授業準備に熱意がなく、指導はその場限りである。																																			
出勤状況	遅刻、早退等も殆どなく確実に勤務する。		普通である。	正当な理由なく勤務に欠ける時がある。																																			
能 率	正確迅速に処理する。		普通である。	無駄が多く処理に渋滞する。																																			
3 その他																																							

親展

身体に関する証明書

現住所 市 町 ×× - ×

勤務先又は勤務予定校 市立 小学校

名前 ○○ ○○

(和暦) S **H** ××年××月××日生

項目	状況	
疾病異常	有 無	・医師による作成もしくは、健康診断書を基に校長又は市町等教育委員会が作成。健康診断書(写)の提出は不要。ただし「検査年月日」と「所見」(教員として勤務可能な程度についていずれかに○)は必ず記入。
その他特記事項	特になし	
所見	[○] 教員として勤務可能 [] 教員として勤務困難 (その他所見) 特になし いずれかに○を付けること	
検査年月日	令和××年 ××月 ××日	健康診断受診日、医療機関での検査日を記入。
令和××年 ××月 ××日		
診断医師又は所属長名 ○○学校長 ○○ ○○		職印

・医師による証明の場合は、医療機関名や医師であることがわかるように「○○診療所 医師 ○○ ○○」と記入してもらうよう依頼をしてください。

上記のとおり、相違ないことを証明する。

令和××年 ××月 ××日

実務証明責任者 ○○市教育委員会 教育長

○○ 職印

(注) 所見の欄には、教育職員として勤務可能な程度についての総合所見を記入すること。

実務証明責任者は以下のとおりです。
 三重県立学校 - 省略のため、空欄 / 他都道府県立学校 - 該当都道府県教育委員会 / 市町立学校 - 市町教育委員会 / 国立学校 - 大学長 / 私立学校 - 理事長 / 現職教員以外 - 省略のため、空欄

第 1 1 号様式

次のことを厳守のうえ、以下の例にならい、「収入証紙納付書」の記入を行ってください。

- 1 収入証紙は、納入者において消印しないでください。
- 2 1 件ごとに別紙としてください。
例 2 件申請する場合は、普通免許状授与等手数料 2 枚（各 3,300 円）普通免許状検定手数料 2 枚（各 1,700 円）が必要です。
- 3 収入証紙は、普通免許状授与等手数料は 2,000 円、1,000 円、300 円の証紙を、普通免許状検定手数料は 1,000 円、500 円、200 円の証紙を使用してください。
- 4 収入印紙ではありませんので、ご注意ください。

収 入 証 紙 納 付 書

申請等の年月日	記入しないこと		
使用料等の名称	普通免許状授与等手数料		
使用料等の金額	3,300	納付 年月日	記入しないこと
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="color: red; font-size: small;">普通免許状授与等手数料 (3,300 円) の例です。 普通免許状検定手数料 (1,700 円) も同様です。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 40%; text-align: center;"> <p>三重県収入証紙 2,000</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>三重県収入証紙 1,000</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>三重県収入証紙 300</p> </div> <div style="width: 25%; text-align: right; font-size: small;"> <p style="color: red;">} 三重県収入証紙を裏面 全体に糊付けし、はがれ ないように貼付してく ださい。</p> </div> </div>			
納 入 者	住 所	市 町 × × - ×	
	氏 名		

- 備 考
- 1 収入証紙は、納入者において消印しないこと。
 - 2 1 件ごとに別紙とすること。
 - 3 収入証紙は、高額証紙を使用し、枚数をなるべく少なくすること。